

神戸市人事給与システム再構築にかかる開発業務
【様式第6号】質問書

※以下の質問に対する回答は、仕様書の追補とみなします。

No.	文書名称	該当頁数	質問(標題)	質問内容	回答
1	(別紙5) 他システム連携一覧	—	他システム連携一覧No.89について	No.89「マイナンバーIF-IN」に関しては、連携方法はアップロードとなっており、人事給与システムに手動で取込処理を実施をする想定で相違はございませんでしょうか。 また、取込前のファイルの加工は不要という認識でよろしいでしょうか。	連携方法は欄外に記載の通りです。 取込前のファイル加工については実装方法によるため、一義的に記載できません。
2	仕様書	2.2.4	直接人件費の上昇率の出典元および確認時期	「直接人件費の上昇率」はどの統計上の値を用いる想定でしょうか。 また、上昇率を確認するタイミングは毎年どの時点になる想定でしょうか。	入札説明書「7.2 入札書及び内訳書の記載内容」に記載のとおり、最低賃金、厚労省毎月勤労統計調査、春季労使交渉の上昇率等の公表資料等を基に設定してください。 また、神戸市では当初契約を競争入札で行った場合、天災その他その責めに帰することができない事由を除き、入札条件等の変更に関わる内容について変更契約を認めていませんが、昨今の労務費等の著しい上昇を受けて、協議のうえ契約変更(増額)に応じることができるとしているものです。現時点では上昇率を確認するタイミングは定めていません。
3	(別紙1) 機能要件一覧	No.381	誤字	家族情報の変更時があった場合…(時が取り消し線が入ってます。) →家族情報の変更があった場合	ご指摘のとおり、「家族情報の変更があった場合」に修正します。
4	(別紙1) 機能要件一覧	No.451	記載内容の確認	なお、No.453の機能要件… →No.450の誤りではないでしょうか。その前提で回答いたします。	ご指摘のとおり、No.453ではなくNo.450に修正します。
5	仕様書	P.12	開発スペースについて	プロジェクトメンバが収容できる作業部屋を受託者側で準備する認識でよろしいでしょうか。	ご認識のとおりです。プロジェクトメンバが作業できる場所は受託者において準備してください。
6	仕様書	2.2.4	直接人件費の上昇率について	「直接人件費の上昇率が入札時に明示する設定上昇率に比して1%を超える場合」とありますが、「入札時に明示する設定上昇率」は提案者の想定で決定してよいという理解でしょうか。	入札説明書「7.2 入札書及び内訳書の記載内容」に記載のとおり、最低賃金、厚労省毎月勤労統計調査、春季労使交渉の上昇率等の公表資料等を基に設定し、設定した上昇率は内訳書(様式第9号)において明示してください。
7	落札者決定基準	4.価格点	上限金額について	令和8年度のみ予算上限枠を単年で設定いただいておりますが、令和8年度に発生する費用については、構築期間途中であっても単年区切りで検収・支払いとなる想定でしょうか。	契約書(案)に記載のとおり年度ごとに検収・支払いを行います。 内訳書に記載したシステム開発業務にかかる令和8年度～令和11年度の金額を、各年度終了時に検収・支払いを行います。
8	契約書及び委託契約約款	P.1	検収・支払いのタイミングについて	構築期間も保守期間も年度ごとの費用の記載が内訳書で必要であり、契約書上も、年度ごとの記載が想定されていますが、検収や支払いについても単年度ごとに実施するという理解でしょうか。	契約書(案)に記載のとおり年度ごとに検収・支払いを行います。 内訳書に記載したシステム開発業務にかかる令和8年度～令和11年度の本額を、各年度終了時に検収・支払いを行います。 保守期間についても年度ごとの支払いを行います。
9	(別紙9) サーバ仮想化基盤利用ガイドライン	P.11	Windows OSについて	今回のサーバ仮想化基盤の提供OSとしてはWindows Server2022となるのでしょうか。Windows Server 2025となりますでしょうか。	サーバ仮想化基盤の提供OSとしてはWindows Server2022もしくは、Windows Server2025から提案者の希望により選択が可能です。
10	(別紙8) 神戸市庁内情報システム調達の手引き(第7版)	P.15	LGWANへの接続について	今回人事給与システムを利用するPCについてはLGWANへも接続されているのでしょうか。	人事給与システムを利用するPC(事務処理用PC)はLGWANへ接続が可能です。
11	仕様書	P.12	開発スペースについて	プロジェクトメンバが作業できる場所は受託者側で準備する必要があると思いますが、テスト工程など含めて開発期間に神戸市様仮想化基盤に接続して作業をする際に、神戸市情報セキュリティ対策基準に則った形にてプロジェクトルームを受託者側で準備するという認識でよいでしょうか。	ご認識のとおりです。 なお、サーバ仮想化基盤利用ガイドラインのP.28～30に記載のとおり、1号館10階の共用端末と総務事務センター2階の共用端末が利用可能ですが、台数に限りがある事、共用であることから、必要に応じて受託者側で準備するプロジェクトルームに保守回線を設置してください。
12	別紙2 職員パターン一覧	職員パターン一覧(教育機関・学校園)	教育委員会の会計年度任用職員の現在の管理状況について	教育委員会の会計年度任用職員のフルタイム、およびパートタイムの一部について、現行システムでの対応が「△」になっていますが、どういった点ができていないのでしょうか。	人事給与システムの管理対象ですが、給与の自動計算が実現できていない(外部ツールで計算している)ため、△表記としています。

No.	文書名称	該当頁数	質問(標題)	質問内容	回答
13	11(別紙5)他システム連携一覧	-	連携方法について	FTP転送(手動)とFTP転送(自動)の運用イメージを教えてください。	FTP転送(自動)はスケジュール実行等で自動的に起動し転送されるもの、FTP転送(手動)は画面等から手動操作で起動し転送されるものとしています。
14	07(別紙1)機能要件一覧	No.31	連携される休暇について	連携される休暇については、発令を伴わない休暇(年次有給休暇や忌引等)も含むということでしょうか？	ご認識のとおりです。発令を伴わない休暇(年次有給休暇、忌引、夏季休暇等)も含みます。
15	07(別紙1)機能要件一覧	No.67、No.68	失業者の判断基準について	No.67、およびNo.68の要件中の「失業者」について、具体的な定義をご教示ください。 退職発令時にフラグ等の設定で判断されるものでしょうか？	ここでの「失業者」とは、退職後に条例等に基づく特定の失業補償の支給対象となる者を指します。 (「失業者の退職手当」とは、神戸市を退職した際に受けた退職手当の額が雇用保険法に基づく給付金の額(失業給付)に満たない場合、その差額に相当する額を手当として、神戸市の条例に基づき給付する制度です。) フラグ等の設定はなく、退職手当請求時に失業者の退職手当の申請があった者を対象に審査しています。
16	07(別紙1)機能要件一覧	No.123	2種の所属コードの使い分けについて	一職員について、課までと係までの2種の所属コードを管理とのことですが、差し支えなければ具体的な2種の使い分けについてご教示いただけますか？	課までの所属コードについては、主に「給与計算の集計単位」「予算管理」などに使用しています。係までの所属コードについては、「職員の異動履歴の管理」「名簿出力」などに使用しています。(課までの所属コードは給与事務上の便宜上のコードという意味合いが強く、課未満の情報まで含めた発令上の本来所属は係までの所属コードで管理されている認識です。)
17	07(別紙1)機能要件一覧	No.138	給与・手当・控除情報の管理	役職定年等の調整額について、現行運用のロジック詳細資料の提供は可能でしょうか。また、標準機能への合わせ込み(業務標準化)と現行維持のどちらを優先すべきか方針をご教示ください。	役職定年等の調整額のロジックについては、現行システムの設計資料等を確認いただき、要件定義工程で確定することを想定しています。なお、パッケージ標準機能による対応が可能な場合は、標準機能に合わせることを優先しています。
18	07(別紙1)機能要件一覧	No.139	支給停止情報判定の仕様確定	判定に使用するフラグ等のデータレイアウトおよび判定ロジック定義書は確定済みでしょうか。詳細な判定基準をご教示ください。もし仕様未定であれば、標準機能に合わせた汎用的な管理ルールを弊社から提案可能です。	判定に使用するデータや判定ロジックについては、現行システムの設計資料等を確認いただき、要件定義工程で確定することを想定しています。
19	07(別紙1)機能要件一覧	全般	業務標準化と個別改修の方針	システム構築にあたり、貴機関では標準機能に業務を合わせる「業務標準化」を優先されますか。それとも現行運用の再現を優先されますか、開発方針の優先順位をご教示ください。	現行運用の再現は最優先としていません。 パッケージ標準機能に業務を合わせることを優先しますが、現行運用より効率化することを前提としているため、一定カスタマイズは必要と認識しています。
20	07(別紙1)機能要件一覧	全般	データ移行におけるクレンジング方針	移行対象データの中に論理矛盾や廃止済項目が含まれる可能性があります。移行時の自動クレンジング方針や、許容される論理エラーの範囲についてご提示可能なルールはありますか。	現時点で論理矛盾等があるデータは特定できていないため、提示できません。移行設計工程において協議してください。 また、実際にデータ移行を実施した際に発覚する可能性もあるため、適宜データ変換等を実施いただく必要があります。
21	07(別紙1)機能要件一覧	全般	例外的な手動補正運用の確認	システム上の自動計算対象外となる、特定の職員に対する手動での金額修正や特例支給等の運用はございますか。保守工数に直結するため、例外処理の傾向を把握したく存じます。	特定の職員に対する手動での金額修正や特例的な支給等については、現行運用上、存在しています。なお、例外処理をシステム改修で個別に作り込むことは保守性の低下につながるため、標準機能での補正入力、手動調整等で対応することを想定しています。
22	07(別紙1)機能要件一覧	全般	連携システム間の疎結合・密結合方針	庶務事務システム等とのデータ連携について、API連携かCSV連携かの方針をご教示ください。また、システム変更頻度やリアルタイム性の要求度についてもご教示ください。	庶務事務システム等との連携については、CSV等のファイル連携を想定しています。 一覧に記載のとおり最短でも日次となっており、リアルタイム性は考慮不要です。運用設計において対象データの選択方法・更新頻度・タイミング等を考慮してください。
23	07(別紙1)機能要件一覧	全般	大規模異動時のシステム負荷運用	年度初めの組織改編時など、全職員の所属変更や辞令発令が集中する際の処理推奨時間帯や、システム上の制限・推奨される分割運用等の目安はありますか。	現行システムにおいては、制限等はありません。 年度初めの組織改編や大規模異動時の処理推奨時間帯、分割運用の可否については、提案システムの性能特性に依存するため、貴社にて想定処理量を踏まえた運用案を提示してください。
24	07(別紙1)機能要件一覧	給与管理全般	遡及計算の制限事項	昇給・手当変更に伴う遡及計算について、最大遡及期間の制限や、エラー発生時の補正ルール等、現行で運用上の制約となっている事項はありますか。	昇給、手当変更、発令内容の修正等に伴う遡及計算については、現行システムの運用を確認のうえ、要件定義工程で詳細を整理してください。

No.	文書名称	該当頁数	質問(標題)	質問内容	回答
25	07_(別紙1)_機能要件一覧	全般	外部連携時のセキュリティ要件	庶務システム等とのデータ連携における暗号化方式や、ネットワーク経路・接続環境に関する制限事項(閉域網指定等)はありますか。	サーバー仮想化基盤上に構築する場合においては、制限事項はありません。なお詳細は、(別紙8) 神戸市庁内情報システム調達の手引き(第 7 版)、(別紙9) サーバ仮想化基盤 利用ガイドライン、(別紙10) 神戸市情報セキュリティポリシーを参照してください。
26	07_(別紙1)_機能要件一覧	給与管理全般	承認ワークフローの運用詳細	承認段階数や、各段階での修正権限等の操作制限について、現行の運用フローを教えてください。標準機能との乖離を早期に特定したく存じます。	現行システムにおいて、ワークフロー機能は使用していません。